

「シャロンの花」同窓会報 第20号

平成28年3月1日発行



(2015/12/05 撮影)

＜平成28年度総会・懇親会のお知らせ＞

日時 5月21日(土) 総会 午後1時30分～(受付1時～)
懇親会 午後2時30分～(受付2時～)

場所 オークラ千葉ホテル
千葉市中央区中央港1-13-3 TEL043-248-1111

会費 7,000円(当日受付にてお支払いください。)

懇親会だけの出席も大歓迎です。恩師の先生方も多数ご出席いただいております。本年は昭和50卒高校第27回生の皆さんが幹事団を組んで取り組みますが、卒業生はどなたでも参加できますので、お誘い合わせの上ご来場ください。

お問合せ・お申込みは、5月10日までに同窓会事務局
(TEL043-306-6960)へ。



(オークラ千葉ホテル)

千葉県立千葉東高等学校同窓会報「シャロンの花」20号になります。今年から同窓会の組織も新しい体制に代わりました。ホームページも新しくなりました。シャロンの花の内容についても新しいものにしていきます。今後とも同窓生の皆様のご協力をお願いします。

発行者 千葉県立千葉東高等学校 同窓会会長 山中 操

編集部 千葉東高校同窓会事務所 〒260-0855 千葉市中央区市場町2-15 渡辺ビル205

平成27年度 同窓会 総会の開催



<総会>

平成27年5月23日に三井ガーデンホテル千葉にて平成27年度の総会・懇親会が行われました。長年同窓会を支えてきた井戸川会長が勇退され、新しく山中 操新会長が承認されました。

内容につきましては、開会の辞、2. 会長挨拶、3. 名誉会長挨拶、4. 来賓紹介・挨拶、5. 本年度転退職・新任の先生及び新年度幹事紹介、6. 出席教職員(卒業生の本校職員を含む)の紹介、7. 議長選出、8. 議題、(1)第1号議案 平成26年度事業報告、(2)第2号議案 平成26年度決算報告・会計監査報告、(3)第3号議案 平成27年度事業計画(案)、(4)第4号議案 平成27年度事業予算(案)、(5)第5号議案 役員の改選(案)、(6)第6号議案 会則の改正(案)、9. 閉会の辞

<平成26年事業計画実施報告>

1. 総会 平成26年5月17日(土) 三井ガーデンホテル千葉 参加157名
2. 同窓会報発行・平成27年3月10日「シャロンの花」第19号発行
3. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
 - (1) 部活動、対外試合、発表会等参観・支援
 - (2) 海外留学引率者支援
 - (3) 卒業式、入学式、体育祭、東雲祭等行事参

列・参観

(4) その他母校支援に該当する案件

<平成27年度事業計画(案)>

1. 総会 平成27年5月23日(土) 三井ガーデンホテル千葉
2. 同窓会報発行・平成28年3月「シャロンの花」第20号発行
3. 同窓会・恩師対外発表会等参加支援・顕彰活動
4. 同窓会維持基金、創立100周年祈念80周年記念事業基金等募金活動
5. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
 - (1) 部活動(関東大会以上出場等)支援
 - (2) 対外 発表会等参観・支援
 - (3) 進路学習支援
 - (4) 海外研修引率者支援
 - (5) 卒業式、入学式、体育祭、東雲祭等行事参列・参観等
 - (6) その他母校支援に該当する案件
6. 支部発足支援活動
7. その他目的達成に必要な事業
8. 役員会(原則隔月第三土曜日開催)

昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業案・予算案が審議されいずれも承認されました。

(平成26年会計報告)

(新役員一覧)

(第2号議案)

平成26年度同窓会決算書

総収入 2,788,748

総支出 2,233,450

次年度繰越金 555,298

収入の部 (単位円)

項目	予算額	収入済額	比較増減	備考
1.繰越金	413,481	413,481	0	
2.会費	1,080,000	1,080,000	0	3,000円×360名
3.入会費	180,000	180,000	0	500円×360名
4.同窓会活動維持基金	700,000	784,000	84,000	392口
5.総会会費	100,000	160,000	60,000	出席157名
6.広告代	70,000	60,000	△ 10,000	シャロンの花19号
7.雑収入	50,000	18,783	△ 31,217	祝儀及び寄付等
8.基金繰入金合算額	0	0	0	
9.事務局残高	0	92,484	92,484	
計	2,593,481	2,788,748	195,267	

支出の部 (単位円)

項目	予算額	支出済額	比較増減	備考
1.運営費	690,000	657,959	△ 32,041	
(1)会議費	100,000	16,594	△ 83,406	役員会等経費
(2)総会費	200,000	197,217	△ 2,783	総会経費
(3)通信費	100,000	65,668	△ 34,332	連絡用切手等
(4)慶弔費	250,000	341,322	91,322	記念品等
(5)旅費	1,000	0	△ 1,000	出張費等
(6)雑費	30,000	37,158	7,158	
2.事業費	1,420,000	975,491	△ 444,509	
(1)同窓会会報発行費	500,000	515,491	15,491	印刷、発送代、2500部発行
(2)母校部活動支援費	500,000	340,000	△ 160,000	
(3)母校教具用品支援費	300,000	0	△ 300,000	催事用具等
(4)海外派遣支援費	120,000	120,000	0	引率先生4名分
3.基金へ積立	400,000	600,000	200,000	
4.予備費	83,481	0	△ 83,481	
計	2,593,481	2,233,450	△ 360,031	

役職	氏名	卒業年
会長	山中 操	昭和44年
副会長	澤田 繁信	昭和46年
	藤井 武彦	昭和39年
書記	小塚 興作	昭和34年
	市原 俊介	平成5年
会計	石橋 康郎	昭和52年
	別府 健治	昭和50年
会計監査	石橋 邦彦	昭和37年
	時田 拡央	昭和38年
事務局長	鈴木 英一	昭和46年
	戸塚 主税	昭和36年
	岩下 克世	昭和39年
	石田 定雄	昭和39年
	林 一己	昭和41年
	川島 利文	昭和42年
	中村 千枝子	昭和44年
	渡邊 茂通	昭和47年
	小川 輝男	昭和50年
	高橋 清英	昭和50年
上市 善章	昭和54年	
常任理事	岩瀬 義行	昭和54年
	木内 一晴	昭和62年
名誉顧問	井戸川 浩	昭和34年
顧問	永江 栄	昭和20年
	小林 美代子	昭和21年
	石橋 康郎	昭和52年
名誉会長	三上 浩司	学校長

平成27年度 懇親会

今年度は、同窓会新会長さんへのバトンタッチ等、総会の議題が多かったこともあり、若干押し気味で懇親会がスタートしました。進行役安藤さんの「大変長らくお待たせしました。」の一言からいよいよ懇親会が始まりました。当懇親会の今年度幹事長、長谷川さんの開会宣言、山中新会長、三上名誉会長、恩師山本先生のご挨拶の後、井戸川前会長のご勇退に際し、今までのご活躍に対して感謝状の授与並びに記念品の贈呈式がありました。

今年度は新機軸として、鏡割りを実施しましたが、参加者全員にお酒がいきわたるまでかなりの時間がかかってしまい、ちょっと失敗だった気がしています。

その後は、和やかな雰囲気の中、各テーブルではむかし話に花が咲きました。

アトラクションとして、「へーでるす」による高校3年の文化祭以来の演奏や元ブラバン部長の岩井さんの指揮により、出席者全員で校歌を斉唱しました。

最後に来年度の幹事長の高橋さんに今年度の長谷川幹事長より櫂が手渡されました。最終的には、懇親会の参加者は200人ほどとなりました。懇親会終了後は2次会が開かれ、各クラスそれぞれ、さらに旧交を温めました。

(昭和49年卒 坂本 恵一)



(懇親会開始)



(へーでるす演奏)



(校歌斉唱)



(来年の幹事へ引継)

「新しい同窓会作り」同窓会会長 山中 操



昨年の総会にて、井戸川浩会長より同窓会長に就任いたしました。

私は、昭和44年卒業です。学生時代はラグビー部に所属し、亀先生、山川先生には特にご指導いただきました。

本校は、『明朗・真剣・練磨』を校訓とし、特に重要目標は、『学力の充実・自律的行動と責任・基礎体力の向上』を目指しております。

私は長らく、同窓会の副会長を務めさせていただき、井戸川会長の元で、同窓会のあるべき姿はどのような事なのかを、たえず考えてまいりました。特に、同窓会の財政問題やシャロンの花の発刊には、かなりの費用がかかります。同窓会費のお願いを絶えず行っておりますが、なかなか難し

いものがあります。その為には、同窓会の皆様に特段のご理解をいただけるような活動を行い、アピールすることが大切だと考えます。

また、同窓会の人材確保も重要なことと思われまます。職業をお持ちの方々は、時間に制約がある上、さらにその中で、認識と考え方を一致させるには、難しいところがあるかもしれません。しかし、私が会長に就任した以上は、これらの課題を解決すべく邁進する所存です。

千葉東高は数々の素晴らしい卒業生を輩出しており、進学校として名実ともに、素晴らしい学校です。今後とも同窓生の皆様に恥じぬよう、学校行事関係との協力を強化し、全力投球で同窓会運営に取り組みたいと思います。

そのためにも一層のご理解を賜りたく、お願い申し上げます。
(昭和44年卒 山中 操)

同窓会名誉会長 三上 浩司(学校長)



同窓会会員の皆様におかれましては、御健勝でお過ごしのことと拝察いたします。また、日頃より母校の教育活動に多大な御理解と御協力をいただき、心より御礼申し上げます。

昨年5月の総会において役員の変更がなされ、山中操新会長を中心とする新しい執行体制がスタートしましたことにお祝いを申し上げます。併せて、井戸川浩前会長をはじめとして退任された役員の皆様には、今まで母校に寄せていただきました御厚情・御支援に深く感謝申し上げますとともに、ますますの御健勝を御祈念申し上げます。

さて、皆様の母校ですが、生徒は本当に良く頑張っています。本校の誇りは生徒です。何事にも真剣に一生懸命取り組み、全力を尽くすその姿は、同窓生の皆様が築いてきた歴史と「東高魂」と呼ばれる精神を見事に引き継いでいると思います。ここで、今年度の活動を振り返ってみます。

①7月の東雲祭では、不測の事態の発生で大変ご心配をおかけしました。

②進学指導重点校として、授業を第一としつつ、高大連携を進めて多様な学習の機会を設定しています。千葉大学教育学部の「基礎教養講座」、大学生と同じ授業を受けられるHOC（ハイスクールオンキャンパス）は継続して実施しています。

東工大との連携講座も新設し、放射線生物学の講義を受けました。

③理数教育に力を入れています。科学技術振興機構認定の中高生の科学研究実践活動推進プログラムがスタートしました。さっそく、化学部が全国有数のコンテストに入賞するなどの成果をあげています。今後の発展が楽しみです。

④国際理解教育を積極的に展開しています。9月のマレーシア修学旅行受入れ、12月のアジアアカデミー総合学科に加えて、グローバル人材プロジェクトの一環としてJICA派遣者による講演や千葉大留学生による講座も実施しました。3月末には米国と豪州への海外派遣を予定しています。今後も様々な機会を設定する予定です。

⑤今年度の部活加入率は101%。生徒は、学習との両立を図りつつ日々の練習や活動に励んでいます。山岳部はインターハイで男子は7位、女子は5位入賞と健闘。囲碁部は関東大会出場、美術部は全国総合文化祭出場、などの成果をおさめています。出場にあたっては同窓会から支援金をいただき、感謝申し上げます。

学校が、活気にあふれ、生徒が多方面で活躍できるのも同窓会の皆様の変わらぬ母校愛と、絶大なる御支援のおかげです。教職員一同、千葉東高のさらなる発展のために全力を尽くしますので、引き続き御理解と御支援をお願い申し上げます。あわせて、同窓会のますますの御発展を御祈念申し上げます。

今回のテーマは「東剣乱舞」東雲祭

東雲祭(第52回)が、7月4日(土)7月5日(日)の2日間で開催されました。

初日はトラブルがあり中止になりましたが、翌日は無事に開催されました。

今年のテーマは「東剣乱舞」でした。(刀剣乱舞はオンラインゲームのタイトルです。)東校の文化祭のキャッチコピーは「東の字で上手いことを言う大喜利」だそうです。1・2年生は各クラスとも趣向を凝らしたアトラクションでした。

3年生の各クラスは、このところ毎年恒例になっている演劇でした。毎年大人気のように、整理券の配布を体育館で行います。整理券を持っていない人は発表場所前の廊下で並びます。今年は1日になっ

てしまったこともあって大勢の人が廊下に並んでいました。また、体育館ではフォークソング同窓会、マンドリン楽部、ダンス同好会、ジャグリング同好会、吹奏楽部などどの発表がありました。

■東雲大賞

東雲祭は水曜日にまたがって行われ3年生は次のクラスが受賞しました。

東雲大賞 : 3年2組「ライオンキング」

準大賞 : 3年3組「WICKED」

学年大賞 : 3年4組「AIDA」

来場者数は4200名。



「境目の時」吹奏楽部・マンドリン楽部定期演奏会

<境目の時>毎年通い詰めている定期演奏会。今年は3月の音楽部のみ他の用事と重なり行けなかったのだが、残りの2つに行き、「境目の時」というその位置付けを感じた。



5月4日は吹奏楽部。クラシカルな第1部は曲の難易度が高く、かつ多くの人に演奏された人気の高い曲もあり、恐らく聴衆の厳しいプレッシャー

を感じながらの悪戦苦闘だっただろう。第2部は劇「ピノキオ」で、悪賢いキツネの誘惑に翻弄されながら正しい道とは何かを考え、試練を乗り越えて成長していく主人公に、部員たちは自分自身を重ねていったに違いない。第3部は「アクセルビート」と題し、しっとりとした大人のジャズからノリノリの激しいリズムへと加速していき、部員たちはこれまでの集大成とばかりに、地域コンサートなどで豊富に重ねた演奏経験を糧に、一気に完全燃焼していく。

5月17日はマンドリン楽部。クラシカルな第1部、ギターアンサンブルの第2部、部員の寸劇を交えた第3部、ラグビー部員が盛り立てる第4部、ともに卒業生が編曲や演奏指導で寄り添う中、指揮



者いわく、ひどいことを言ってしまったにもかかわらず皆がついて来て、柔らかな雰囲気の中で互いに感謝を伝え合い、話を聴き合い、ギスギスしても場を和

ませたと。演奏中の部員同士のアイコンタクト、終演に近づくにつれて募る感極まった表情は、聴衆に思わずその仲間に入っていきたいような衝動を引き起こす。

吹奏楽部の部長とマンドリン楽部の指揮者、ともに挨拶で口にしたのは、その演奏がその定演を境目に、もう二度とできないということ。特に引退する三年生にとっては、部室に行き楽器を演奏するという日常が、部活という存在そのものが、突然なくなること。それまで演奏のみならず部活生活をもっと良くしようと、必死に喘ぎながら悩みながら高みを目指す日々は、たとえ夢が叶わず燃え残ろうとも厳然と終止符が打たれる。だが一方で、それだからこそ、塗り替えられぬ形で思い出が余韻としていつまでも残る。その「境目の時」をくぐって成長する彼らの姿が、定演では見えないのだ。(平成5年卒 市原 俊介)

「アメリカのおもてなし」米国派遣



今回の米国派遣に際し、同窓会より多大なる御芳志を賜り、深く感謝申し上げます。また、このような素晴らしい米国

との架け橋を作りあげてきて下さりありがとうございます。アメリカに行き、クラークストン高校での歓迎ぶりを見て、これはただの海外派遣ではないと感じました。これまでの東高生が積み上げてきた信頼と、歴史とが混ざった日本とアメリカの架け橋が目の前にありました。その橋をさあ渡るぞと思った3月22日。ニューヨークでの研修を終えてミシガン空港で大歓迎の中ホストファミリーたちに迎えられた瞬間でした。

生徒はクラークストン高校で、日本文化など10種類のテーマを3~4回程度繰り返し、計35回プレゼンテーションしました。それを通して生徒があっという間に成長していく姿を見ることがで

きましたし、おとなしいように見えた生徒の積極性が見られた瞬間などもあり、私自身とても刺激を受けた海外派遣でした。

日本はおもてなしの国だと思ってきましたが、本当にそう自負していいのか不安になるくらい、アメリカではたくさんのおもてなしをしてもらいました。ホームステイ2日目の朝、ある生徒が泣きそうだと言っている。どうしたのか尋ねると、ホストファミリーが優しすぎて泣きそうだとのこと。なあんだ、と安堵しながらも、確かに私もクラークストン生や受け入れて下さった先生の優しさに戸惑うほど、様々な面で気遣っていただきました。このような米国派遣から帰ってきた私たちには、この架け橋をさらにつなげ、強固なものにする使命があると感じました。この同窓会誌を読んでいる方の中にも米国派遣経験者がいらっしゃると思います。この歴史ある国際交流に関わることができて幸せです。さらなるグローバル人材育成のために尽力してまいりますので、ご支援ご理解よろしくをお願いいたします。

(引率教諭 山田 枝里子)

海外高校交流沿革と豪州ウォリラ高校

今年度国際教育部が新設され、部長を拝命した機会に海外高校交流の歴史を調べてみました。国際交流新聞には一覧を掲示しましたが、HPにも詳細をアップしておきますのでご覧ください。

日米高等学校交流は1974年(昭和49年)3月に始まり、これまでBuchser (CA)、Charles Boehm (PA)、Middelbare (PA)、Thomas Jefferson (VA)、Irondequoit (NY)、Johnston(TX)、Marymount (NY)、Clarkston (MI)、Fort Hays (OH)の9校と交流がありました。2000年(平成12年)から現在も交流が続いているのがミシガン州のクラークストン高校です。その受入は隔年で行っており、文化の相互交流が行われています。

日豪高等学校交流は1996年(平成8年)7月Viewbank (Melbourne)の派遣で始まり、1999年(平成11年)9月受入、1998年(平成10年)8月Vincentia (NSW)に派遣したあと長い間途絶えていましたが、2014年(平成26年)3月Pacific Hills Christian (NSW)派遣を機に再開しました。調べる前まで、2014年の派遣を最初の豪州派遣と勘違いしており、それ以前に派遣があったことを知っている人は誰もいませんでした。伝統に光を当てることができ、大変嬉しく思いました。

このような経緯の下、私は第4回目にあたる2015年

(平成27年)3月Warilla High School派遣を萩原拓也教諭と引率しました。20名の生徒(男子3名、女子17名)は、ホームステイしながらオーストラリアの文化・習慣を体験したり、学校のESLで英語を学んだり、パティと一緒に授業に出たり、書道・伝統玩具・浴衣・浦島太郎劇などの日本文化をプレゼンしたりして、楽しく相互の文化交流を深めました。

ウォリラ高校は、シドニーから100km南のシェルハーバー市内にあります。中1から高3までの公立6年制中高一貫校で、生徒約1200名が落ち着いた雰囲気の中、授業を受けています。昨年から中1の必修科目として日本語教育が始まりました。外国人を受け入れることが初めてということで、学校を挙げて歓迎をしていただきました。明るくフレンドリーな気質が印象に残りました。これが本校との文化交流の始まりであることを祈って止みません。

(引率教諭 石井 俊幸)



「東高魂」の更なる進化に期待！（進路指導部）

～納得の進路実現を目指して～

進路指導主事 倉内 博幸

数年前まで東高に勤務していた某教員に聞いたことですが、「東高魂」という合言葉が本校で使われ始めたのが今から10年程前のことのようにです。その言葉の意味は、「勉強、部活動、学校行事に手を抜かず、最後までやり遂げる姿こそが東高生だ。」。ある生徒が大学入学後、第一志望校への憧れを捨てきれず、再受験する時に発したのが「東高魂」です。

早速ですが、これまでの進路指導を簡単に振り返ってみることにしましょう。

1. はじめに

本校は昭和16年（1941年）の開校以来、めざましい躍進をとげてきました。平成16年に千葉県教育委員会から「進学指導重点校」に指定されました。従来から、「学力の充実、自立的行動と責任、基礎体力の向上」を努力目標として掲げ、知・徳・体のバランスのとれた視野の広い人物の育成に力を注いできました。また、生徒一人ひとりと真摯に向き合い、きめ細かな指導を行う学校として実績もあげ、好評価も得てきました。「進学指導重点校」としての初年度、数値目標としては、現役合格率60%以上、国公立大学現役合格70名以上、難関国立大学現役合格10名以上、千葉大学現役合格35名以上、難関私立大学現役合格110名以上でした。現在（平成27年度）、その数値目標は現役合格率70%以上、国公立大学現役合格100名以上、難関私立大学現役合格110名以上となっています。昨年度（平成26年度）の数値目標も今年度と同値でしたが、昨年度卒業生はその数値目標値を見事に達成しました。

さらに、学力向上を目指すコンセプトの一つが「教養の復興」です。心技体の均衡、社会への志、科学する面白さ、暗記力・洞察力の養成、学問の楽しさ・厳しさ等を復活するべき、復活したいという思いがこのキャッチフレーズに込められています。現役主義、国公立主義、団体主義が進路指導三方針と言われていた時代もあり、それがいまでも引き継がれています。

2. これまでの進路指導の取り組みと成果について

ここ数年間で教職員のほとんどが入れかわってしまった結果、「指導の継承」が一番気になっていることです。試行錯誤のいま、という感じですね。そのような状況下でも、「すべては生徒のために！」をモットーに全職員一丸となって進路指導にあたっています。「3年後を見据えた進路指導の実践」を目指して日々取り組んでいます。1年次は職業研究（体験）・学問研究、2年次は学問研究・大学研究、3年次は第一志望合格達成を大目標として掲げ、その実現に向けて、基礎学力の定着と向上のための校外実力テスト、生徒および保護者対象の進路ガイダンス、定期的面談等を実施しています。さらに、OB・OGの方々による心温まるアドバイスは後輩（在校生）にとって何物にも代え難いものとなっています。一方、生徒たちは多忙ながらも充実した高校生活を送っているのは紛れもない事実でしょう。その結果が数字にも表れています。（下表参照）

3. 今後に向けて

大学入学が最終目標ではなく、一通過点に過ぎないのは自明であります。これからの社会で求められる「確かな学力」を身につけるため、「学力の三要素」（①基礎的・基本的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③主体的に学習する態度）を軸として、義務教育の改革成果をベースに、高等学校教育、大学入学者選抜、大学教育を一環したものととして接続するためのシステム改革（「高大接続改革」）が巷で賑わっています。特に高校現場に直接関わりのあることは「高等学校基礎学力テスト」「大学入学希望者学力評価テスト」（いずれも仮称）、「アクティブラーニング」などであり、その対応も必要になってきます。現状に決して満足することなく、生徒たちが魅力ある人間として、また、将来社会のリーダーとして、人の役に立つ人生が送れるよう、「人間力の育成」に全力投球する必要があるでしょう。

（表）主な進路実績推移（現役生のみ、合格延べ数、空欄はゼロ）

卒業年度	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26
国公立大	106	96	94	96	103	109	87	81	97	87	110
北海道大	1	2	3	2	3	6	3	4	5	1	3
東北大	1	5	1	3	4	10	4	1	3	3	9
東京大	2	1		1			2				
名古屋大	1			2		1				2	3
京大			1			4		1	1	2	1
一橋大						2				2	3
東京工業大	3	3	1	2	1	2	3	2	1	3	2
千葉大	46	36	49	38	48	36	26	35	45	32	46
早稲田大	28	35	27	31	51	31	33	25	34	28	35
慶應義塾大	12	16	12	4	21	9	17	4	20	13	11
上智大	12	19	6	17	22	12	13	10	26	24	13
東京理科大	17	35	32	35	37	53	34	30	39	36	52



「今年も頑張りました！」部活動

部活動加入状況 (2015年)

No.	部名	男	女	合計
1	陸上競技	54	47	101
2	剣道	12	9	21
3	柔道		1	1
4	サッカー	59	6	65
5	卓球	28	11	39
6	テニス	65	32	97
7	バスケットボール	39	28	67
8	バレーボール	20	30	50
9	野球	54	7	61
10	ラグビー	31	8	39
11	水泳	2		2
12	山岳	42	16	58
13	ソフトボール		22	22
14	文学	2	3	5
15	物理	3	1	4
16	化学	7	1	8
17	地学	10	7	17
18	生物	5	1	6
19	音楽	7	16	23
20	美術		6	6
21	吹奏楽	4	65	69
22	マンドリン楽	19	84	103
23	書道	1	11	12
24	食物手芸		34	34
25	ESS		14	14
26	演劇	2	17	19
27	写真	2	3	5
28	茶華道		37	37
29	コンピュータ	4		4
30	歴史研究同好会	1		1
31	漫画研究同好会		5	5
32	JRC同好会	5	12	17
33	フォーク同好会	8	16	24
34	陶芸同好会			0
35	囲碁同好会	4		4
36	ジャグリング同好会	4	6	10
37	ダンス同好会		66	66
	合計	494	622	1116

<戦績>

☆山岳部

(男子) 県大会優勝
全国大会出場
【第7位】

(女子) 県大会優勝
全国大会出場
【第5位】



(クライミング)

県大会出場 【第2位】

全国選抜大会出場 【12月】

☆陸上競技部

(男子) 県大会出場 走り幅跳び 【第4位】

関東大会出場 【第7位】

(女子) 県大会出場 走り幅跳び 【第6位】

関東大会出場

県大会出場 400M 【第7位】

県大会出場 100×4R 【第8位】

県大会出場 400×4R 【第7位】

☆テニス部

(男子団体) 県大会出場 【4回戦】 ベスト16

(女子団体) 県大会出場 【4回戦】 ベスト16

(女子個人シングルス) 県大会出場

【3回戦】 ベスト32

(女子個人ダブルス) 県大会出場

【2回戦】 ベスト32

☆ラグビー部

決勝トーナメント進出 【2回戦】 ベスト16

☆サッカー部

二次予選トーナメント進出 【1回戦】 ベスト34

☆バスケットボール部

(男子) 県大会出場 【1回戦】

(女子) 県大会出場 【3回戦】 ベスト32

☆バレーボール部

(男子) 県大会出場 【2回戦】

(女子) 地区予選敗退

☆ソフトボール

(女子) 県大会出場 【2回戦】

☆柔道部

(女子個人) 県大会 【1回戦】

☆剣道部

(男子団体) 地区予選決勝トーナメント敗退

(男子個人) 県大会出場

(女子個人) 地区予選1位 【県大会出場】

☆卓球部

(男子団体) 県大会 【2回戦】

(男子個人) 県大会 【3回戦】

(女子個人) 県大会 【4回戦】 ベスト32

平成27年高野連大会

春季大会 代表決定戦進出 【敗退】

夏季大会 1回戦敗退

秋季大会 県大会進出 【1回戦】

「ふるさとの山」をテーマに 山岳部OB会

＜「ふるさとの山」をテーマにしたシャロン＞

アルペンクラブの行事も恒例化し、定着してきました。また、年々若いOB・OGの参加が増えつつあります。大変喜ばしく感じています。

今回は房総3名山の一つ鹿野山最高峰(白鳥峰335m)を目指して、古くから鹿野山神野山の参道として栄えた「鹿野山古道」を福岡から上がりました。早春の日だまりハイキングに相応しい天候に恵まれ、年を忘れた楽しい一日を過ごしました。

締めは「うなぎの名店津多屋」で懇親会が行われ、老若男女の楽しい声が響きました。最近是小糸川の天然物は少なく、口にすることができませんでしたがうなぎをサカナに楽しい歓談になりました。

(昭和44年卒 小川 秀樹)



(写真 鹿野山 九十八谷展望台にて (H27/02/28))

平成27年度野球部OB会 活動報告

＜OB会 総会 懇親会＞

平成27年6月6日(土)京成ホテル・ミラマーレにて開催

総会には藤代会長ほか代議員18名が出席して開催されました。昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業案・予算案が審議されいずれも承認されました。

総会に引き続いて開催された懇親会には飯生監督のほか、保護者会から斎藤会長、西村福会長にもご臨席いただき、藤代会長(昭和45年卒)の挨拶から始まり、飯生監督、保護者会・斎藤さんから挨拶をいただき、その後、和やかに歓談して終了しました。

＜第36回千葉県高校野球OB野球大会＞

今年度のOB野球大会は17人が集まり、8月9日(日)に一宮商業高校のグラウンドで銚子商業高校と対戦しました。立ち上がりから銚子商業の「黒潮打線」の猛攻を受け、0-5とリードされた3回裏、平成25年卒の日暮君、鈴木君の活躍もあって7-5と逆転。さあこれからというところで3番手で登板した安西投手(平成4年卒)が負傷交代となり、その後は再び「黒潮打線」につかまり、4回表に17失点、それでもあきらめず7点を返し、食い下がりましたが、14-22で敗戦となりました。それでもここ数年は人数が集まらず不戦敗という結果が続いていましたので、集まったメンバーに深く感謝致します。また、来年度もより多くの方々の参加を期待します。野球大会は若い会員の方の参加が欠かせません。

卒業間もない会員の方の参加を是非お願い致します。

＜平成28年度 新年会＞

新年会は京成ホテルミラマーレで1月30日(土)に開催されました。

参加者は藤代会長他会員15名、飯生監督の挨拶に続き、共田先輩(昭和32年卒)の乾杯の挨拶、和やかな歓談のあと、宮川先輩(昭和39年卒)の挨拶、関先輩の締めの挨拶、記念撮影をして解散となりました。

現役部員の支援にはOB会の援助も必要です。新年会を通じて情報交換をしながら、支援の仕方も検討していきたいと思っております。来年度もぜひたくさんの会員の方の出席をお願い致します。

(文責 昭和51年卒 高橋 敏行)



「高女2・3回生のつどい」

〈高女2・3回生のつどい〉

平成27年6月21日(日)毎年恒例になっている上記懇親会を、そごう千葉店「鮎やまと」にて実施いたしました。参加者は4~5名です。

さて、私達同期生は皆86・87歳になりました。既に亡くなった方の状況も次々に聞くようになり寂しいです。

おくやみを申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。現在無事に暮らしている方で介護施設に入っている方々、二人暮らしでも自宅にて老々介護で頑張っている方、一人暮らしで自分のことは特に家の中のこと、食べる、杯洗、排泄はできるが一步玄関を出ると通院、薬局、買い物、銀行関係等、交通機関他人の手を借りなければ出来ません。

その他、自宅通院等で要支援の方所在、住所がはっきりわからない方もおられる状況です。

ところで、卒業してから70年以上過ぎました。技能変わりなく十分に活躍している方もおられ体調の良し悪し、家庭の中の環境町内その他のサークル、クラブ趣味を生かして活動されている方もいらっしゃいます。

次回、懇親会は平成28年6月19日(日) 毎年6月第3日曜日 12時30分からそごう千葉店「鮎やまと」で行います。

千葉県立千葉東高等学校同窓会

(2回生 昭和21年卒 顧問 小林 美代子)

※シャロンの花からのお知らせは第20号で終了させていただきます。

「東高校第一期生」の思い出

〈高東高校卒業第一期の思い出〉

平昭和16年高等女学校設立。昭和三十七年県立東高と校名が変わり誕生、初の卒業生となった。先生方、友達と楽しい思い出が今でも心に残る。勉学は学生の本分。

当時進学する生徒は多くても三割、卒業後それぞれ目標に向かい出発していった。三年前十何年ぶりに同窓会があり、百人以上の仲間が集り元気な顔を

見せた。恩師が二人元気な姿を見せ、楽しそうに友人達と話しをされていた。

元同窓会長の井戸川先輩も忙しい中、ご出席し後輩の活躍や生徒の進路等を報告され会場から盛大な拍手が鳴りやまない程でした。

その雰囲気は二次会迄続き、みんな元気に会場を後にした。また逢う日まで！

昭和37年卒 (荒井 進)

「鈴木健生先生叙勲祝賀会」平成50年卒3組クラス会

〈担任、鈴木健生先生の叙勲祝賀会〉

S50. 3月卒3年3組はついに今年還暦を迎えますが、卒業来40余年、何かにかこつけてしつこくクラス会を継続してきました。

担任は英語を教えて頂いた鈴木健生先生で、先生が東高で最初に卒業させた生徒に当たります。

平成27年秋の叙勲で先生が瑞宝小綬章を受章されたことをお祝いしようと平成28年2月6日(土)にニューオータニ幕張で祝賀会を開催しました。47名のクラスでしたが、幼保小中高特支の教職に就いた者が14名、

市役所・県庁・国家公務員が4名と、先生や公務員が半数近くを占め、民間では損保・メーカーを始め外資系に勤務する者が多く、またクラス内で夫婦が2組誕生しています。

既に鬼籍に入った者が2名いますが、今回のお祝いになんと30名が集まり、いまだにクラスの団

結を誇ります。祝賀会では初めてお会いした奥様に皆感動。次回のクラス会を約束して帰宅しました。(昭和50年卒 高橋 清英)



今年も元気に開催 各OB会



＜書のグループ展「漕」＞2015開催

第5回漕展は10月20日～25日まで、こみなと稲毛ギャラリーにて開催されました。

従来のメンバーに新たに須田さんが加わり8名となりました。漢字・かな・漢字仮名交り、刻字・日本画と個性的でバラエティに富んだ大小の作品が一人4～5点の多様な出品で、多くの来場者楽しんでいただき盛会のうちに終了しました。

(昭41年卒 林 一己)

写真 前列 湯浅、林(一)、林(破)

後列 白井、須田、内海、中村、石井



＜暖流会＞

母校美術部OB有志による暖流会は昨年8月27日より9月1日の間、画廊ジュライにて第38回目となる展覧会を現母校美術顧問、乳井亜樹先生の参加も含めて開きました。

この会は千葉第三高等学校であった頃から続くもので恐らく県下で最も古い歴史を持つOB会だと思います。

(暖流会会長 昭和36年卒 戸塚 主税)



＜同窓会ゴルフコンペ＞

私たち45年前に千葉東高校を卒業した。63歳の同窓生です。我々の代からシャロン会の幹事に澤田繁信君が長年ご尽力いただき、同級生一同に成り代わり日頃の感謝を申し上げます。シャロン会GOLFコンペは、数回参加しておりましたがまさか優勝などするとは思っていませんでした。

50歳前後で10年間ぐらいGOLFを止めていたのですが再開後少しずつ昔の感触を取り戻している最中です。最近では、なんとか90を切るよう頑張っていますが依る年波にはかないません。なんとか70歳までGOLFができるよう精進しようと思っています。

皆様もふるってシャロン会GOLFコンペのゴルフにど参加いただけるように祈念いたしまして優勝コメントといたします。

(昭和46年卒 木村)

関 法律事務所

- ・法律相談・遺産相続
- ・不動産・顧問弁護士
- その他

弁護士・千葉県議会議員 **関 政幸**
(1998年卒)

〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野3-7-2-605
TEL 043-291-5525 FAX 043-291-5526

ASUKA アスカグループ
(有)志学経営研究所
顧問・前衆議院議員

田沼 隆志
(平成6年卒)

経営コンサルティング、講演
プランニング、マニュアル作成・販売

〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-10-114-403 TEL 043-253-9610

JR京葉線 蘇我駅東口前

不動産のことならおまかせ!!

不動産の売買・仲介
賃貸借・総合管理
ご相談ください!!

おかげ様で
創業51年

三幸商事株式会社
堤 清司(昭和53年卒)

サコウコー 〒260-0842
[TEL] 043-263-3535 千葉市中央区南町2-17-11
FAX 043(265)4488 <http://www.sanko-shouji.co.jp>

アパート・マンションの探し方は
アパマンショップ

お部屋探しはおまかせ下さい!!

アパート・マンションのお部屋探しから賃貸管理、土地活用まで
不動産に関することを**トータルサポート!!**

今だけ
優待

髙島ハウジング ☎ 043-232-0000
☎ 043-232-0696

ギャレックスチバ株式会社

代表取締役 **澤田繁信(昭46年卒)**
千葉市中央区今井3-1-9
[TEL] 043-261-4528
[FAX] 043-265-5446
[mail] info@galaxchiba.jp

オリジナルマーキングは当社へ!!

パソコンの設定・ホームページ作成・
ホームページレンタルなど
パソコン・ネットワーク関係

お気軽にご相談下さい。

ネットオフィスK

(代表/加藤光也 昭和54年卒)
URL: <http://www.office-k.net>

お問い合わせ、ご相談はメールもしくは上記ホームページ
からお願ひします。メールは携帯からも送れます。

連絡先メールアドレス: mail:nbo1043nifty.com
fax 047-404-6427

ホームページ SNSのご案内



(千葉東高校同窓会HP)



(千葉東高校HP)



(ラグビー部OB会HP)



(野球部OB会HP)



(千葉東高校山岳部HP)



(剣道部OB会HP 三紫会)

<各ホームページのアドレス>

千葉東高校同窓会	http://chibahigashi-doso.com/
facebookページ	https://www.facebook.com/dosokai.chibahigashi/
Twitter	https://twitter.com/@higashi_doso/
Line@ (LineID)	@sfu3930z
千葉県立千葉東高校	http://cmsl.chiba-c.ed.jp/chibahigashi-h/
ラグビー部OB会	http://chibahigashi-rugby.com/
野球部OB会	https://sites.google.com/site/higashikouyakyul/home
千葉東高校山岳部	http://www.sanyukai.org/
剣道部OB会(三紫会)	http://sanshikaikendou.net/

(OB会等でHPのアドレス等があれば連絡をくだされば掲載します。)

<同窓会からのお知らせ>

・基金の支払の方法について

今年からコンビニで支払いができる振込用紙をセットしました。金額は固定(4,000円)になりますが、郵便局でもコンビニでも同窓会への寄付金の支払いができます。同窓会の維持の為に皆様のご協力をよろしくお願いいたします。固定金額以外は、郵貯の振込用紙に記入して振込をお願いします。

(同窓会活動維持基金 1口 2,000円 創立100周年祈念80周年記念事業基金 1口 2,000円)

<編集後記>

今年から新体制ということになり、「シャロンの花」も新しい編集方法をいろいろと模索してみました。情報集めが後手後手に回ってしまい編集がぎりぎりになってしまいました。今から思えば学校行事の写真をたくさん撮ったり、同窓会OB会等に事前に声をかけておけばよかったと思っています。次会からはよりよい同窓会報を作るようにOBや学校関係者にお会いした時に「情報をください。」とお願いしておきたいと思います。理事やOBの皆さんも常に頭の片隅に「シャロンの花」のネタ作りを考えておいてください。また同窓生の皆様でクラス会やOB会を実施する時は事前に同窓会に連絡をいただければ同窓会のホームページで告知します。また同窓会報にも掲載します。同窓会のホームページに問い合わせのページがあります。ご連絡をお待ちしています。

(編集委員)